

平成 24 年 2 月 15 日

## 新配水池設置事業の中間報告（概要）

新配水池設置事業について経過を報告いたします。

本事業は、平成 20 年作成の米子市水道事業基本計画（水道ビジョン）において策定されました。

事業計画の実施に先立ち、平成 21 年 12 月から平成 22 年 3 月にかけて配水池建設の可否を判断するため建設予定地（山陰道・米子バイパス南側の山）の地質調査を行いました。地質調査の発注に当たっては、複数の設計者から本事業の目的に合致した企画を提案してもらい、その中から事業に最も適した設計者を選ぶ「プロポーザル方式」を初めて採用し、設計者を選定しました。

建設予定地の高密度電気探査、ボーリング調査及び土質の解析を行った結果、配水池を設置するのに十分な地盤強度を有していることが確認できましたので、平成 22 年 5 月に建設予定地周辺（富士見ヶ丘団地、宗像団地、戸上・観音寺）の住民の皆様に対し事業概要の説明を行い、承諾を得ることができました。

新配水池設置に係わる基本設計につきましても、地質調査と同様に公募型のプロポーザル方式を採用することとしました。

平成 22 年 11 月 12 日に外部有識者及び水道局職員で構成する「新配水池計画・基本設計に係わる評価委員会」（以下「評価委員会」と略します。）を設置し仕様書等の検討を行い、平成 22 年 11 月 17 日に提案書を募集した結果、配水池関係には 6 者、水管橋関係には 3 者の応募がありました。

審査は、提案内容について事前に書類審査を行った上で、平成 23 年 2 月の評価委員会において応募各者によるプレゼンテーションと提案内容の審議を行い、最高得点を獲得した 2 者（森松工業㈱、㈱ウエスコ）を特定しました。

平成 23 年 4 月には、施設課に配水池設置に係るプロジェクトチームとして計画推進室（3 名の職員を配置）を新設し事業の推進体制を整え、現在に至っております。

以下は、これまでの経過を箇条書きにしたものです。

### 【経過】

1. 米子市水道事業基本計画「水道ビジョン」策定（平成 20 年 3 月）
  - ① 中央配水区及び南部配水区における配水方法を直圧方式から自然流下方式へ変更
  - ② 候補地の選定
2. 地質調査業務（平成 21 年 12 月～平成 22 年 3 月）
  - ① 請負業者：復建調査設計㈱ プロポーザル方式で特定

- ② 調査方法：高密度電気探査及びボーリング調査
3. 遺跡調査（米子市文化課）
- 平成 24 年 1 月末日 予備調査を完了
- 今後、事業の進捗状況に併せて本掘削による調査を行う予定
4. 第 1 回地元説明会（平成 22 年 5 月）
- 富士見ヶ丘団地、宗像団地、戸上・観音寺で開催
5. 新配水池計画・基本設計に係わる評価委員会設置（平成 22 年 11 月）
- 水道局職員 5 名・外部有識者及び学識経験者 4 名の計 9 名で構成
6. 基本設計委託業務発注（平成 23 年 1 月）
- 評価委員会にて業者を特定
- ① 配水池基本設計委託業務 森松工業株式会社（ステンレス製貯水槽メーカー）
- ② 配水池設置に伴う水管橋基本設計委託業務 株式会社ウエスコ（コンサルタント）
7. 配水池基本設計委託業務（平成 23 年 3 月～平成 24 年 1 月 31 日）発注
- ① 地質調査及び測量調査を委託
- ② 配水池設置及びタンク容量決定
- 中央配水池 16,000 m<sup>3</sup> 4 槽（ステンレス製の矩形）
- 南部配水池 1,500 m<sup>3</sup> 3 槽（ステンレス製の矩形）
- ③ 関係機関への協議及び申請
8. 水管橋基本設計委託業務（平成 23 年 3 月～平成 24 年 1 月 31 日）発注
- ① 戸上水源地から当該地までのルート及び水管橋の構造を検討
- 逆三角トラスト橋に決定
- 中央送水管 800A に決定
- 南部送水管 400A・南部送水管 400A に決定
- ② 地質調査（ボーリング）及び測量調査
- ③ 関係機関への協議及び申請
8. 第 2 回地元説明会（平成 23 年 11 月 12 日）
- 用地測量発注前における観音寺地区及び車尾村中の役員を対象とした説明会を開催
9. 用地測量及び調査委託業務（平成 23 年 12 月～平成 24 年 6 月 15 日）発注
- ① 請負業者：(株)ワーパス
- ② 用地取得に係わる地籍調査